

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年11月21日18:01）

京畿道平沢振威面市野鳥糞便から H5 型鳥インフルエンザ（AI）抗原検出

出典 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmcmElMkY2OCUyRjMxODg0NvUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QlMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVtdHIIM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCUyNmIzVmllld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UIM0QxJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳に基づく仮訳）

□ 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は、11月20日に京畿道平沢振威面で採取した野鳥糞便に対する検査を実施したところ、11月21日に H5 型 AI 抗原が検出されたと発表した。

○これにより農林畜産食品部は、AI 緊急行動指針（SOP）により抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径 10km の地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
 - ②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒
 - ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化
 - ④当該自治体に広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行う
- など防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には 3~4 日所要予定